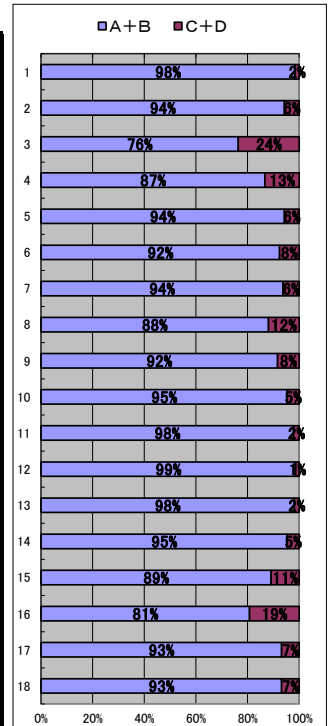


令和5年度の学校づくりに向けて —後期学校評価結果のおしらせ—

保護者の皆様には「第五中学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。評価の結果は下記のとおりです。アンケート結果を真摯に受けとめ、教職員一丸となって今後の学校づくりを進めてまいります。今後も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

学習自己評価	評価項目	評価				評価合計			割合		今年度前期	
		①	②	③	④	①+②	③+④	合計	①+②	③+④	①+②	③+④
1	授業開始2分前に着席し、授業の準備をしている。	218	145	5	1	363	6	369	98%	2%	97%	3%
2	授業中は先生や友達の話当真に聞いたりノートをいねいに取ったりしている。	211	137	19	2	348	21	369	94%	6%	95%	5%
3	宿題や提出ノートの毎日提出している。	141	141	66	21	282	87	369	76%	24%	81%	19%
授業評価	4 先生方は、チャイムとともに教室に来ている。	90	230	44	5	320	49	369	87%	13%	89%	11%
	5 先生方の授業はわかりやすい。	183	165	17	4	348	21	369	94%	6%	96%	4%
	6 授業では、自分の考えなどを書く場面がある。	207	134	27	1	341	28	369	92%	8%	91%	9%
	7 授業では、友達と考えを話し合う場面がある。	194	152	23	0	346	23	369	94%	6%	92%	8%
生活自己評価	8 学校での生活は楽しい。	209	116	34	10	325	44	369	88%	12%	90%	10%
	9 さわやかなあいさつができています。	189	149	30	1	338	31	369	92%	8%	89%	11%
	10 時間を守った生活ができています。	179	173	17	0	352	17	369	95%	5%	95%	5%
	11 友達の気持ちを考えた行動をしている。	227	134	7	1	361	8	369	98%	2%	96%	4%
	12 服装を整え、生活の決まりを守って生活している。	300	64	4	1	364	5	369	99%	1%	99%	1%
	13 無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任を持って取り組んでいる。	277	85	6	1	362	7	369	98%	2%	99%	1%
	14 生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	232	120	15	2	352	17	369	95%	5%	93%	7%
	15 部活動(またはそれにかかわるもの)に意欲的に取り組んでいる。	267	62	9	31	329	40	369	89%	11%	91%	9%
生活評価	16 悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。	158	140	53	18	298	71	369	81%	19%	84%	16%
	17 先生方は、生活の3重点を意識して生活している。	176	168	23	2	344	25	369	93%	7%	94%	6%
	18 学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。	212	132	24	1	344	25	369	93%	7%	92%	8%
		平均				340	29	平均	92%	8%	92%	8%



○「学習・授業への取り組み」(項目1~7)の評価結果を今年度前期の割合と比較してみますと、項目3を除けば大きな変動は見られません。A+Bの割合が総じて高く、本校生徒の学習への取り組み方の良さがうかがえます。ただ、項目3についてはA+Bの割合が5ポイント減っております。家庭学習課題の内容を見直すなどして、生徒が予習復習、課題解決のための自主学習に取り組む意欲が増すよう、指導内容・指導方法の改善を目指します。項目4については、教職員も遅れないように頑張っております。が、生徒の始業に遅れが出ないよう、さらに突き詰めてまいります。

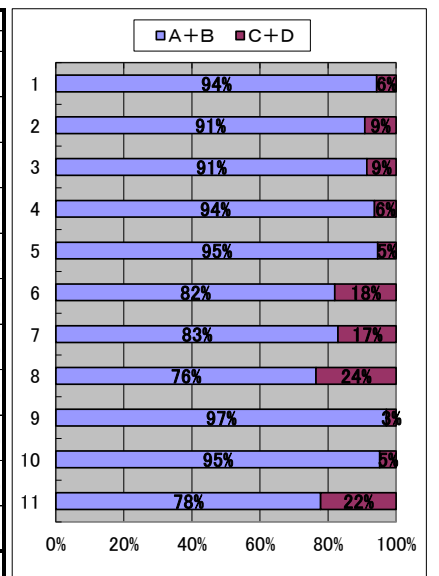
○「学校生活に関する自己評価」(項目8~15)では、項目9のA+Bの数値が他の項目と比べて今年度前期よりも多少改善しています。1年生のあいさつ習慣ができてきたことが結果向上に結び付いてきたと言えます。項目8、15、16については、わずかとはいえ、A+B評価の割合が減少しています。生徒が相談しやすい教職員の接し方、悩みを訴えられる機会の充実など来年度への課題として取り組みたいと考えております。

○項目9については、本年度の重点目標にしています。前期に比べ、多少A+Bの値は伸びましたが、まだまだみんなが「あかるく、おおきく、にこやかに、さわやかに」というところまでいきません。一歩ずつ焦らず前進するように、来年度も重点目標に位置付けて、生徒の主体的な活動を中心に、あいさつの向上を目指します。

○項目12・13ではA+Bの割合において、非常に高い結果を示しています。本校生徒の規範意識の高さを反映しているものと考えられます。この姿を大いに認めつつ、全生徒が学習や学校生活に安心して取り組める雰囲気維持を図っていきたくと考えています。

教育に関するアンケート集計(保護者)

項目	評価				合計	割合		今年度前期		
	A	B	C	D		A+B	C+D	A+B	C+D	
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(学校だより、学校要覧、講話など)	148	150	17	1	316	94%	6%	97%	3%	
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	135	151	22	7	315	91%	9%	96%	4%	
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	134	152	21	6	313	91%	9%	93%	7%	
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	174	122	15	5	316	94%	6%	94%	6%	
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	187	109	16	1	313	95%	5%	98%	2%	
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	140	113	48	13	314	82%	18%	82%	18%	
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。(学校や地域で)	110	152	51	3	316	83%	17%	81%	19%	
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	80	160	65	9	314	76%	24%	75%	25%	
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	181	126	6	3	316	97%	3%	97%	3%	
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	151	48	8	2	209	95%	5%	93%	7%	
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	55	191	61	9	316	78%	22%	81%	19%	
		平均				305	89%	11%	90%	10%



○前期と比較し、生活の三重点である「あいさつ」「時間を守る」の項目のA+Bの割合がわずかですが向上しています。中学生にふさわしい服装で生活しているかについては、前期から非常に高い割合でよくできているとの回答をいただきました。いずれも社会生活を営むために大切な基礎的な生活習慣であり、ご家庭の協力のもと、落ち着いた日々の生活に取り組む生徒の様子が結果からもうかがえます。

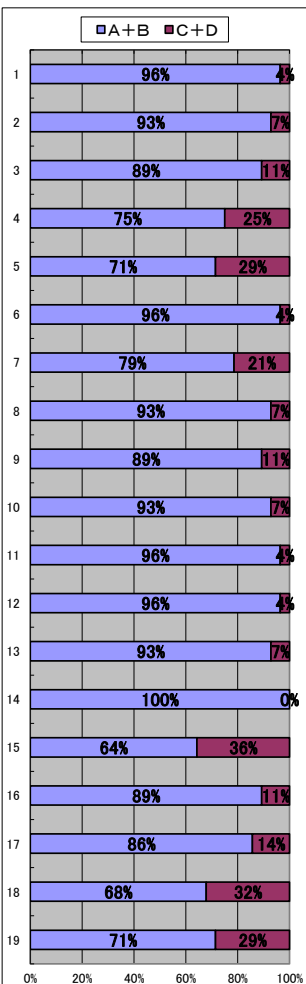
○学校の情報発信については、A+Bの割合が9割を超えるものの、前期から3~4ポイントの減となりました。本年度は、感染症対策や校舎改築等により、保護者の皆さんと学校職員が直接情報交換ができる場面があまりありませんでした。また来年度以降も校舎改築によりご不便をおかけすることとなります。その分、通信や学校ホームページなどを活用し、より積極的に情報を発信してまいります。

○2の「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。」が前期と比べ5ポイントとなっております。交友関係で問題が起きたときの早期の対応とともに、日頃より学級や部活動を通じて温かな人間関係を築くための支援をしていきます。思春期の「自立の峠道」にいる子どもたちは、様々な不安や悩み、葛藤を抱えながら生活をしています。そのイライラを他者につぶつけてしまい、トラブルに発展することもあります。そんなときには、担任だけではなく、複数の職員がチームを組んで子どもたちに寄り添いながら、関係者から事情を聴いたり、お互いの言動をふり返せたりしながら、問題の解決にあたります。ご家庭と密に連絡を取り合いを共有しながら、成長につなげてまいりますので、ご家庭でも、お子さんに心配な様子がありましたら、遠慮なく学校に連絡をいただければと思います。

○11の「子どもは、授業が分かりやすいと感じている」の割合が、生徒のアンケート結果の94%に比べ、78%と低くなっております。教科により分かりやすさに差があるというご指摘もありました。全教職員の間で教授法の情報を交換しながら、より分かりやすい教科指導を目指します。

教育に関するアンケート集計（教職員）

領域	具体的方策	評価					評価		割合		今年度前期	
		A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教 育 活 動	1 1時間ごとの授業や単元でのつける力の明確化。	6	21	1	0	28	27	1	96%	4%	81%	19%
	2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	6	20	2	0	28	26	2	93%	7%	81%	19%
	3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	4	21	3	0	28	25	3	89%	11%	86%	14%
	4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見返し場面の工夫）	5	16	7	0	28	21	7	75%	25%	71%	29%
	5 自分の姿を追求するための体験を通じた授業	3	17	8	0	28	20	8	71%	29%	76%	24%
	6 五人権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	6	21	1	0	28	27	1	96%	4%	90%	10%
	7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	8	14	5	1	28	22	6	79%	21%	76%	24%
	8 意見を言い合える場の設定	8	18	2	0	28	26	2	93%	7%	90%	10%
	9 朝の読書、読書旬間中の一斉読書の推進	17	8	3	0	28	25	3	89%	11%	86%	14%
	10 生活の3重点、部活動の重点の深化	9	17	2	0	28	26	2	93%	7%	95%	5%
	11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	10	17	1	0	28	27	1	96%	4%	81%	19%
	12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	13	14	1	0	28	27	1	96%	4%	100%	0%
	13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導（よ〜く観る、よ〜く聴く）	10	16	2	0	28	26	2	93%	7%	100%	0%
学 校 運 営	14 学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	17	11	0	0	28	28	0	100%	0%	90%	10%
	15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	4	14	10	0	28	18	10	64%	36%	52%	48%
	16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	15	10	3	0	28	25	3	89%	11%	62%	38%
	17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	4	20	4	0	28	24	4	86%	14%	86%	14%
	18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	4	15	9	0	28	19	9	68%	32%	67%	33%
	19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	0	20	8	0	28	20	8	71%	29%	57%	43%
					平均	24	4	86%	14%	80%	20%	



○前回の報告でも触れましたが、本校において大切に考えている「生徒が安心して学習、学校生活に取り組めるための規範意識の醸成」「生徒が困難に陥ったときの素早い対応」、また、「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」について全職員が心掛け、実践しています。今後も引き続き継続してまいります。

○学習指導では、項目5と7において物足りない数値となりました。これはコロナ禍の第8波の影響で、学習形態に制限が掛かったり、思うような体験型の活動ができなかったことの影響が大きいと考えています。今後制限緩和の動きが見られますので、来年度は改善が見込まれます。

○項目1、2については、校内の職員研修などで意識統一を図ってまいりました。今後も「生徒が授業の流れ全体を見通し、振り返ることができるような授業形態の検討を進めます。また、教科学習の指導法など研修を重ね、生徒の学習成果の向上に資するよう取り組んでまいります。

○項目12、13に関しては、職員と生徒の受け止めに差があります。職員は生徒の訴えを傾聴して課題解決を目指しています。その姿勢を基本にしつつ、さらに「生徒の声なき声のくみ取り」や「生徒と教師間の話しやすい関係の構築」を目指してまいります。

○項目15、18、19については、前期同様、コロナ禍による活動自粛により会議等が実施できなかったため、評価が低くなっています。世の中がwithコロナへと変容しつつある中で項目19に関する研修などの機会を復活しつつあります。来年度は、ほぼ以前の状態まで復するであろうと思われます。

○項目16については、授業参観・学年・学級PTAともに例年どおりの開催には程遠い内容でしたが、学年ごとの分散開催やオンラインでの授業配信など日程や内容に工夫を加えてできる限り不足を補う形で実施してまいりました。来年度以降も、校舎改築に伴う工事等により様々な制約が課されるかと思いますが、できる限りの配慮と工夫を重ねてまいります。

＜令和4年度後期の学校評価の集計ができましたので、つぎの5点に絞ってご報告いたします。＞

☆詳細は、上記の集計表をご覧ください

- 1 生徒の学習自己評価より：自主学習の意義を実感できる指導を心がけ、自ら学習に向かう姿勢作りと基本的な学習習慣の定着をめざす工夫を続けてまいります。
- 2 生徒の生活自己評価および保護者の学校評価より：生徒が安心して学校生活を送るために、生活の三重点を中心としたルールを大切にしつつ、生徒・保護者が相談しやすい教職員の接し方、悩みを訴えられる機会の充実を心がけます。
- 3 生徒および保護者の授業評価より：分かりやすい授業のために研鑽を重ねると共に、学習した内容を身に付けるための自主学習のやり方を具体的に説明しながら、学習習慣の定着を図ります。
- 4 保護者の学校評価より：概ね本校の取り組みにご理解をいただいていると思います。さらに一人ひとりの生徒に寄り添いながら、ご家庭と連携し、生徒の支援にあたります。
- 5 教職員の自己評価より：生徒一人ひとりの個性が輝き、生徒が生き生きと学べる学校を今後も目指してまいります。

なお、この集計結果は、学校運営委員やPTA三役の皆様にもお示しし、更に「学校関係者評価」としてご意見や提言をいただいたものとまとめ、設置者である上田市教育委員会にも報告し、学校ホームページでも公開します。